

人生が明るくなる3つの「幸せの法則」

(049)

幸せの法則1（鏡を磨く）

自分の顔がいつもきれいに映るように、磨いてください。

古来、鏡は神聖視されてきました。

神社には、御神鏡といって、神聖なるものとして鏡がまつてあります。それをのぞき込むと、のぞき込んだ人が映ります。

これは、どういう意味なのでしょう。か「かがみ」の真ん中にある「（我）」を取ってみてください。すると「かみ」になります。

だれの中にも、神さまがいます。

玄関の鏡、洗面所の鏡、鏡台、姿見、手鏡、すべての鏡をピカピカに磨くことで、スピリチュアルなパワーが高まり運がよくなります。

鏡をいつも曇らせず、ホコリを寄せつけずにいると、見通し
が明るくなります。

直感がさえます。

自分の考えが、しっかりとまとまります。

鏡と同様に、窓の内側も外側も、家の出入り口である玄関の扉もよく磨きます。

運氣が落ちたと感じたときや、特に清めたいときは、掃除した後、フライパンで軽く炒った天然塩をまき、30分後にほう

きで掃き出すか、掃除機で吸います。

床を磨くと先祖の加護が、天井を磨くと天の加護が、壁を磨くと世間の加護が得られます。

幸せの法則2（言葉を磨く）

まず、日々の暮らしの中で、できるだけ「天国言葉」を口にして、「地獄言葉」は使わないようにします。

そして、丁寧な、美しい言葉遣いで話すようにします。

すると、あなた自身の魂の波長が高まっていきます。それに引きつけられて、波長の高い、いい人が集まってきます。

言葉には、言葉という不思議な霊力が宿っているのです。

天国言葉の言葉は、いい人を呼び寄せるばかりか、いい出来事、いい霊、幸運も、呼び寄せます。

天国言葉を使う人には、いたずらをするような低級な霊は近寄ってこられません。

ですから、「ツイてる・うれしい・楽しい・感謝しています・幸せ・ありがとう・ゆるします」といった「天国言葉」を使えば、もう一度、その言葉を口にしたいくなるような出来事が、必ず起きます。

一方で、「ツイてない・不平不満・グチ・泣きごと・悪口・文句・心配ごと・ゆるせない」といった「地獄言葉」をふだんから言っていると、また言わざるをえないようなことが起こり、なかなかそこから抜け出せません。

とはいっても、不用意に地獄言葉を遣ってしまう場面、乱暴な言葉を発してしまうこともあるでしょう。

そういうときは、自分を責めることはありません。すかさず、「天国言葉」を10回言って、地獄言葉をキャンセルするようにしましょう。

幸せの法則3（ハートを磨く）

ほんとうの自分に気づくと、自分が大好きになります。自分が大好きになれば、悩みが消えます。

試しに「自分が大好き！」と、何度も言ってみてください。不思議といことが起こります。

人間も、動物も、植物も、命あるものはすべて、スピリチュアルな存在です。

そして、命がないと思われているもの、例えば、石や水なども、すべてスピリチュアルな存在です。

山、川。地球、月、太陽。

すべてに魂が宿り、「生きて」います。

日本の昔の人たちは、「八百万の神」といい、すべてのものに神様が宿っていることを知っていました。

生物にも、無生物にも、縁あって出逢った家族、身の周りの人たちも、笑顔を投げかけ、優しい言葉をかけ、どんどんほめましょう。

美しい景色を見たら、その感動を口にしましょう。道端の花

や木々にも「きれいだね」と声をかけてみてください。パワーが返ってきます。

水を大事にしてください。近所に川があったら、一つでもゴミを拾って返りましょう。龍神様が味方してくれます。

お札は向きをそろえて財布にしまえます。財布の中の不要なレシートやカードは整理しましょう。

そして、お金を使うときは、お金に「ありがとう」と声をかけます。すると、お金が喜んで、仲間を連れて戻ってきます。

そうして、日々生きていく中で、「この問題どうしよう？」と悩むことがあったら、守護霊さんや神様に心の中で尋ねて見ましょう。

すると、開いた本、町中の看板、聴いた歌、見た映画の中に答えが見つかることがあります。

最後に、あなたのオーラを強烈に輝かせる方法をお伝えします。

日の出か、日の入りに、太陽に向かって立ちます。

両手を広げ、太陽に向かって、「きれいですね」「ありがとうございます」と口にしてください。

太陽が、あなたに大きなパワーを送ってくれます。

人生が明るくなる3つの「幸せの法則」 マキノ出版

高津理恵